

つなぎかたガイド

IPoE対応ルーター 01

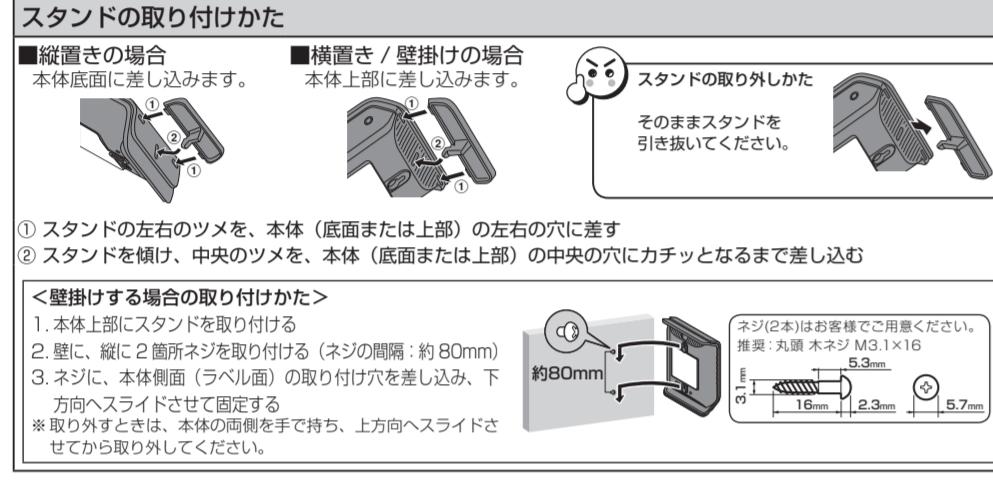
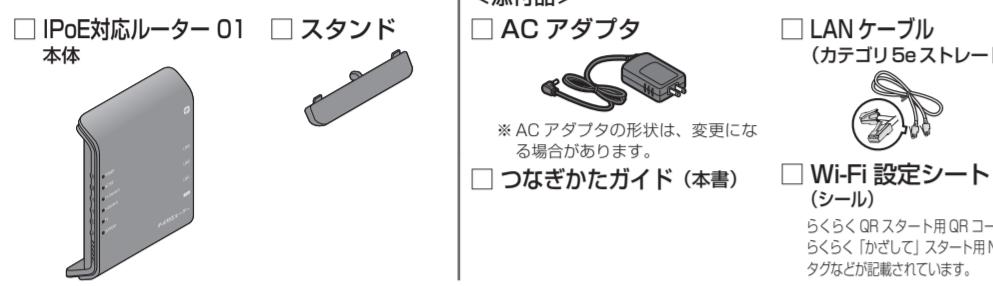
NWA-A06552-003-00
2020年8月

本書は、読んだあとも大切に保管してください。

技術基準適合認証品
(ユーザーズマニュアル)

IPoE対応ルーター 01(以下、本機器と呼びます。)は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bの無線LAN規格に準拠したWi-Fi(無線LAN) ホームルータです。

箱の中身をチェックしよう



本機器の取扱説明書について

本機器の取扱説明書は下記のように構成されています。(2020年8月現在)

●つなぎかたガイド(本書)

基本的な接続パターンを例にして、インターネットが使えるようになるまでの接続・設定手順を説明しています。また、ご使用前に確認していただきたい注意事項、トラブルシューティングも記載しています。

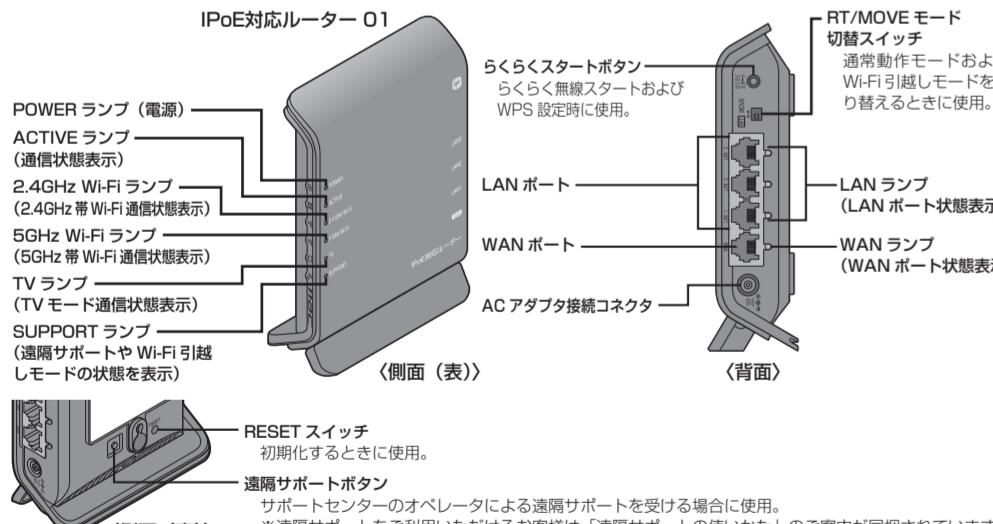
●ユーザーズマニュアル(Webサイトに掲載)

本機器のさまざまな機能を利用できることを、わかりやすい操作・設定手順で説明しています。
また、本機器の基本事項についても記載しています。

→右記QRコードまたは下記から参照してください。

製品サポートページ(<https://www.aterm.jp/sl-support/ntcm1/>)
※本機器はNECプラットフォームズ株式会社の製造機器であるため、NECプラットフォームズ株式会社のページを案内しています。

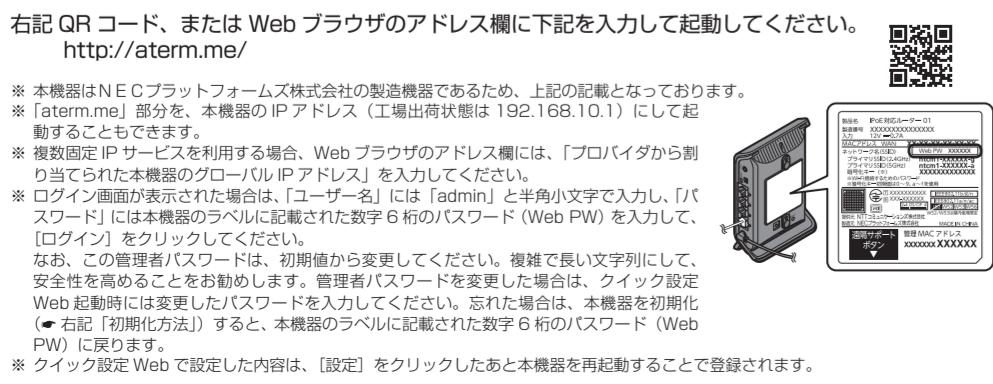
各部の名称



本機器の設定を変更する場合は

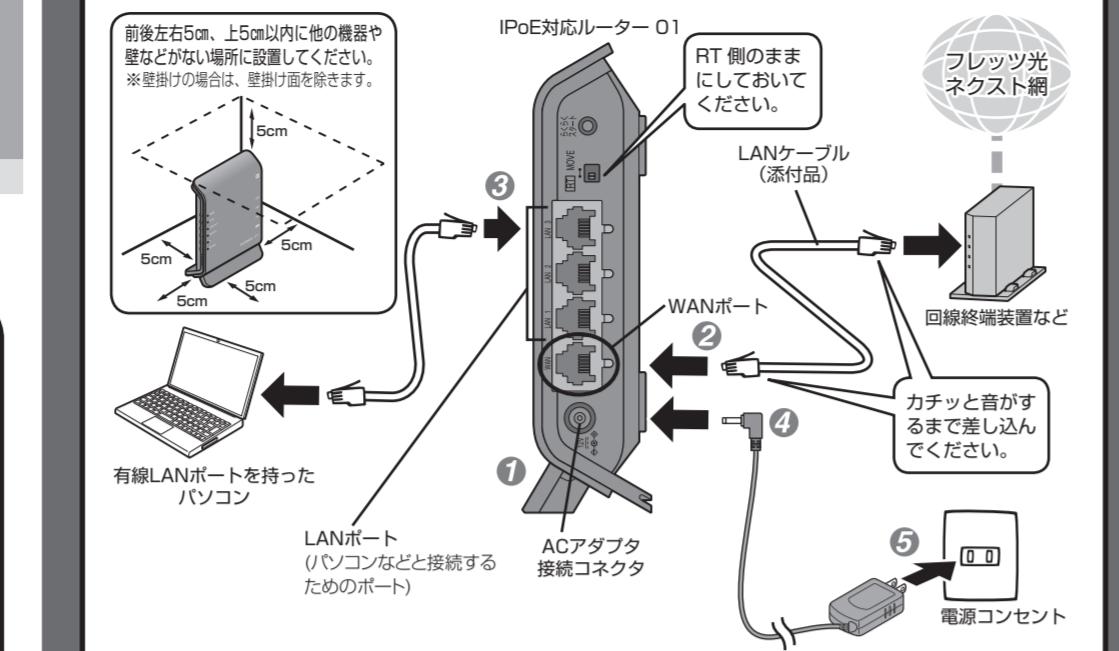
IPoE対応ルーターに接続した機器(端末)で、下記QRコード、またはWebブラウザのアドレス欄に下記URLを入力指定してください。

クリック設定 Web の起動方法



STEP

IPoE対応ルーター 01を設置して電源を入れよう



STEP

子機から本機器にWi-Fi接続しよう

★本書では、スマートフォンやパソコン、ゲーム機など、本機器と無線LANで接続(Wi-Fi接続)する端末のことを子機と呼びます。

他のルーターのWi-FiがONになっている場合は、干渉してしまう場合がありますので、本機器以外のルーターのWi-FiはOFFにしてからご使用ください。

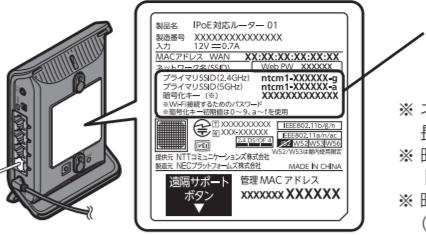
ご利用の子機から本機器にWi-Fi接続するには、本機器のネットワーク名(SSID)および暗号化キーをご利用の子機に設定します。

(接続する子機は、15台までお勧めします。)

詳細なWi-Fi接続方法は、子機の取扱説明書などを参照してください。

※無線チャネルがW56に対応していない子機をご利用の場合は、本機器の「使用チャネル」を「W52」または「W53」に設定してください。設定は、「クイック設定Web」(左記「クイック設定Webの起動方法」)の「Wi-Fi(無線LAN)設定」-「Wi-Fi詳細設定(SGHz)」画面で行ってください。

以下はWi-Fi接続方法の主な例です。



無線LAN内蔵パソコンの場合 (Windowsの場合)

*動作環境:パソコンはサポート外となります。

*Windows 8.1の場合は、「スタート」画面で「デスクトップ」を選択してからはじめてください。

- 1 パソコンの無線(ワイヤレス)機能を有効にする
※設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 表示領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンをクリックする
Windows 10の例

※本機器のプライマリSSIDは、本機器のラベルに2.4GHz帯、5GHz帯ごとに記載されています。映像規制などの高速通信には5GHz帯の「ntcm1-XXXXXX-a」を選択するなど、ご利用環境によって選択してください。

※ネットワーク名(SSID)を初期値から変更した場合は、変更したネットワーク名(SSID)を選択してください。

※本機器のプライマリSSIDは、本機器のラベルに2.4GHz帯、5GHz帯ごとに記載されています。映像規制などの高速通信には5GHz帯の「ntcm1-XXXXXX-a」を選択するなど、ご利用環境によって選択してください。

※ネットワーク名(SSID)を初期値から変更した場合は、変更したネットワーク名(SSID)を選択してください。

※本機器の暗号化キーを入力して「次へ」または「OK」をクリックする
※暗号化キーとは、Wi-Fi接続するためのパスワードです。セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキーとも呼ばれます。

※暗号化キーを初期値から変更した場合は、変更した値を入力してください。

スマートフォン/タブレット端末の場合

らくらく「かざして」スタートでWi-Fi接続する

同梱のWi-Fi設定シートのNFCタグを利用しますので、お手元に用意してください。

Atermらくらく「かざして」スタートは、インターネット接続機能(LTE通信や3G通信など)、NFC機能に対応している端末で、無料でご利用いただけるアプリです。ただし、パケット通信料はお客様ご負担となります。利用可能な端末の最新情報は、下記のWebサイトでご確認ください。
(2020年8月現在)

<https://nfc.setup.aterm.jp/>

※本機器はNECプラットフォームズ株式会社の製造機器であるため、NECプラットフォームズ株式会社のページを案内しています。

AtermらくらくQRスタートは、Atermの画面などからQRコードをタップする
※設定方法は、Atermの取扱説明書などを参照してください。

※iOS端末の場合は、「[設定] - [Wi-Fi]」をオンにしてください。

※Android端末の場合は、NFC機能を有効にしてください。

※設定方法はAndroid端末の取扱説明書などを参照してください。

※iOS端末の場合は、「[設定] - [Wi-Fi]」をオフにしてください。

※Android端末の場合は、「[設定] - [Wi-Fi]」をオフにしてください。

※iOS端末の場合は、「[設定] - [Wi-Fi]」をオフにしてください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本機器を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
なお、さらに詳細な内容を[ユーザーマニュアル]に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

- 警 告**:人が死亡する、または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
注 意:人が軽傷(※2)を負う可能性が想定される内容、および物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い:本機器の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

(※1) 重傷:失明、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院をするものとしています。
(※2) 軽傷:治療に入院や長期の通院を要しないが、やけど、感電などをしています。
(※3) 物的損害:家屋、家財および備蓄、ペットなどにかかる拡大損害をしています。

図記号の説明



警 告

電源

- 100V AC の家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。
- AC アダプタは、必ず本機器に添付のものをお使いください。また、本機器に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。
- 本機器に添付の AC アダプタは日本国内 100V AC (50/60Hz) の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所(収納棚や本棚の後ろなど)に設置しないでください。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- AC アダプタをコンセントに差し込んだ状態で、AC アダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。特に、回転式の抜け止め型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

こんなときは(本体および AC アダプタ)

以下の場合は、すぐに本機器の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙に記載のお問い合わせ窓口にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。また、c. d. e. のような使いかたはしないでください。

- a. 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき
- b. 電源コードが傷んだ状態(芯線の露出・断線など)のとき
- c. 本機器を水や海水につけたり、ぬらしたとき
- d. 本機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり落としたとき
- e. 本機器を落としたり破損したとき

禁止事項(本体および添付品)

- 本機器は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。
- 本機器を分解・改造しないでください。
- ぬれた手で本機器を操作したり、接続したりしないでください。
- 本機器の内部や周囲でエアダスター やダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項(本体および添付品)

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本機器の電源を切ってください。
- 本機器は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ベースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
- 本機器のそばに花びん、植木鉢、カップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本機器間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば隣接物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のようないくつかの問題が発生する可能性があります。
- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍聴し、ID ハッシュコード又はクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
 - 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
特定の人に物品を贈り、不正な情報を流す(なりすまし)
傍聴した通信内容を書き換えて送信する(改ざん)
コンピュータウイルス等を流してデータやシステムを破壊する(破壊)

等の行為がなされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品はセキュリティに関する仕組みを拥っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使っている場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティに対する責任は、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本機器のネットワーク名(SSID)、暗号化キーおよび PIN コードは初期値から変更してください。変更は、ワイヤレス設定 Web で行います。ネットワーク名(SSID)、暗号化キーは「Wi-Fi 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

本機器で使用しているソフトウェアについて

本機器には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL にしたがい、複製、頒布および改変することができます。詳細は[ユーザーマニュアル]を参照してください。

電波に関する注意事項

- 本機器は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11ac、IEEE802.11n (5GHz 帯)、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch (W52) と 52,56,60,64ch (W53) と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch (W56) です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch (J52) の装置と IEEE802.11a モードでの通波はできません。

IEEE802.11a/n/ac
W52 | W53 | W56
5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示のあるものを推奨します。
・W52 (5.2GHz 帯 / 36,40,44,48ch)
・W53 (5.3GHz 帯 / 52,56,60,64ch)
・W56 (5.6GHz 帯 / 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)

5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示のあるものを推奨します。
・W52 (5.2GHz 帯 / 36,40,44,48ch)
・W53 (5.3GHz 帯 / 52,56,60,64ch)
・W56 (5.6GHz 帯 / 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)

IEEE802.11n (5GHz 帯) または W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) を選択した場合は、法令によりこのような制限項目があります。

・各チャネルの通信開始時に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。

・通信中にレーダー波検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

IEEE802.11n (2.4GHz 帯)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しております。この周波数帯では、電子レンジなどの商業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用帯域内無線局、免許をしない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。本機器が運用する前に、近くで「他の無線局」ととの間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機器の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

(2) 万一本機器と「他の無線局」ととの間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機器の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

(3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に記載のお問い合わせ窓口にお問い合わせください。

●Bluetooth 機器との通信はできません。

●IEEE802.11n (2.4GHz 帯)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4
IEEE802.11b/g/n

2.4 DS/OF 4
DS-SS 方式および OFDM 方式を示す

4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す

■ ■ ■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

●本機器が 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。

「この機器を 2.4GHz 帯で適用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかにすることを推奨します。」

ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。(使用チャネルの設定方法は[ユーザーマニュアル]を参照してください。)

●デュアルチャネル・クロックチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確かめください。

・デュアルチャネル・クロックチャネルを「使用しない」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確かめください。

・万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近づいて使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

高調波電流抑制対策について

高調波電流規格 JIS C 6100-3-2 適合品
※消費電力 75W 以下のため適合

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどを行っておりません。

本製品の輸出(非居住者の役務提供等を含む)に際しては、外国為替及び外貿法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取しください。

ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、別紙に記載のお問い合わせ窓口にご相談ください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については万全にして作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

(4) 本機器の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機能を逸失するために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

(5) セキュリティ対策をほどこす、あるいは、無線 LAN の仕様上やむえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

(6) セカンド機能で不適切な扱いや不測の事態(例えば落雷や漏電など)により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えられるトラブルとその対処を下記に記載します。

※ 解決しない場合は、本機器を初期化(「表面初期化方法」)し、はじめから設定し直してお試しください。

■ POWER ランプが消灯している

●電源が入っていません。STEP1 を実行して、AC アダプタが確実に接続されていることを確認してください。

●状態表示ランプが設定して「消灯」に設定している場合は、POWER ランプが消灯します。

■ 回線終端装置などが設置されていない場合の接続方法は?

マンションタイプのインターネット接続の場合、回線終端装置などが設置されていない場合があります。その場合は本機器の電源を切り、本機器の WAN ポートと壁などにあるインターネット接続口を LAN ケーブルで接続後、本機器の電源を入れてください。

■ ルーター管理画面へのログインができない

ご利用のパソコンにプロキシが設定されている場合があります。その場合は、Aterm の IP アドレスを直接入力して設定してください。

●Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。

●IP アドレスの取得がうまくいくしていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。

■ 本機器を再起動したら、インターネット接続できなくなつた

本機器を再起動すると Wi-Fi 接続が切断されますので、自動的に Wi-Fi 接続されない場合は、ご使用の機器から再度接続を行ってください。

■ Aterm らくらく QR スタートや Aterm らくらく「かざして」スタートで、Wi-Fi 接続に失敗する

●Aterm らくらく QR スタートの Web サイト(https://qr.aterm.jp/) (2020年8月現在)または Aterm らくらく「かざして」スタートの Web サイト(https://nfc.setup.aterm.jp/) (2020年8月現在)にアクセスして、Wi-Fi 接続に失敗した場合の対処方法を案内しています。

※ 本機器はNEC プラットフォームズ株式会社の製造機器であるため、NEC プラットフォームズ株式会社のページを案内しています。

●スマートフォン・タブレット端末の環境や使用する Wi-Fi 機器との相性の問題により、正しく動作しない場合があります。その場合は、STEP 2 の「手動で Wi-Fi 接続する」を参照して Wi-Fi 接続してください。

■ Wi-Fi 接続できない

●本機器と子機の距離を 1 ~ 3m に近づけて Wi-Fi 接続してください。

●電波に影響を与える機器(コードレス電話機や電子レンジなど)から離れて接続してください。

■ 無線 LAN 対応のプリンタから Wi-Fi 接続したい